

大和映像サロン ニュースレター

令和7年 11月号 №.535 2025年（令和7年）11月1日発行

2025年10月勉強会報告

10月9日（木）14時00分から、勉強会をシリウス606号室にて開催しました。

出席者 佐藤、嶋崎、関、土屋、野田、樋口、
三浦、宮崎 以上 出席者 8名
欠席者 4名、通信会員1名、休会0名

今回の勉強会は、翌週に迫った我々の発表会「大和映像まつり」のリハーサルを行いました。

手順に従って、司会者による作品の紹介から始め、全作品を上映し、時間配分、内容の確認などをおこないました。

その後、さらに役割分担や、当日の案内係の行動を確認しました。



会長報告・連絡事項

- 1) 大和市教育委員会へ後援名義使用後の報告書と、ART100へ実施後の報告書を提出しました。
- 2) 山本さんより、転倒して怪我をしたので本日は欠席するとの連絡がありました。 幸い擦り傷のみで、骨折はしていないとのことです。
- 3) 「やまと芸術祭」が文化創造拠点シリウス1階ギャラリーで開催され、作品が展示がされています。
絵画、書、写真それぞれ展示の日が決まっています。
詳細は、やまと芸術祭のサイトをご覧ください。

以下のリンクをクリックするとジャンプします

[やまと芸術祭のサイト](#)

「大和映像まつり」来場お礼

大和映像サロンの作品発表会「大和映像まつり」を10月15日に、やまと芸術文化ホール シリウス・サブホールで開催しました。

会場には200名を超える方々にご来場いただき、感謝しています。



会長より

1998年から毎年続けてきた上映会「大和映像まつり」は今年も無事終了しました。

多くの方にご来場いただきとても嬉しく感謝しています。また、多くの感想やご意見が寄せられました。

今後も多くの方に喜んでいただける映像クラブになるよう一同努力を続けます。

ありがとうございました。

Yamato Eizo Salon News Letter

2025年10月定例会報告

10月25日（木）14時00分からシリウス 606号室にて、10月の定例会を行いました。

出席者 佐藤、嶋崎、関、土屋、野田、長谷川、
樋口、三浦 以上 出席者 8名
欠席者3名、通信会員1名

今月の定例会は、10月15日の「大和映像まつり」の反省会と、一般作品の発表をおこないました。

「大和映像まつり」の反省会

来場者から届いた多くの感想や意見を持ち寄り、今後の運営に生かしていくよう出席者で議論しました。

今回の成果をもとに、さらに多くの方に喜んでいただけるような発表会ができるよう努力を続けることを一同、誓いました。

感想や意見など

- 1) 200名以上の来場者
- 2) 「よかった」という感想が多く寄せられた
- 3) 上映作品が少なかったという意見も
- 4) 特定の作品の鑑賞を目的に来場された方も
- 5) 作者紹介の場が欲しかった
- 6) 開場まで整列してもらったことは運営上よかった
- 7) 関係者席の確保と明示の方法の検討が必要

10月定例会発表作品

1) 「ある遭難」 22:00 野田 和男

カメラ : Canon 8mm

作者の友人でヒマラヤ登山の経験もある女性が丹沢で遭難します。 警察も動員した大掛かりな捜索も打ち切りとなり、登山仲間だけで続ける捜索。

そして遺体発見。 家族や友人たちの姿をカメラは追いかけます。

会長報告・連絡事項

- 1) 大和市文化芸術顕彰 文化芸術振興賞の顕彰式
11月3日（月）11:30 より シリウス大ホール
大和映像サロンが振興賞を授与されますので、会員は出席をお願いします。
- 2) 来年度の「大和映像まつり」の開催会場として今年と同じシリウス・サブホールを2026年10月28日（水）午後で予約をしました。
来年の作品の準備にかかりましょう。
- 3) 「YAMATO ART100」に参加していた「大和映像まつり」の報告書を教育委員会に提出しました。
- 4) 公開上映会の案内
湘南映像クラブ 11月9日（日）13:00～ 平塚美術館
- 5) 藤井会員が健康上の都合とのことで、残念ながら今月をもって退会されました。
- 6) 11月からの3ヶ月のスケジュールを配布しました。

「なぜ経験豊かな登山家が丹沢で？」

どうしても伝えなければと、必死でカメラを回した作者の思いが伝わる重いテーマの作品でした。

神奈川県第3回映像コンクール「最優秀賞」受賞作品



Y a m a t o E i z o S a l o n N e w s L e t t e r

2) 「81歳 高尾山に登る」 12:26 佐藤 昌孝

カメラ : Nikon P950、Osmo Poket

久しぶりに登山をしようと向かった高尾山。

このくらいの山なら登れるだろうと選んだ体力試しの登山。 結果は思った以上に大変。

下りはストックだよりでやっと麓にたどり着いたとのこと。 映像の途中に挿入されるテロップとともに面白いナレーションが流れます。 愉快な作品でした。



3) 「長岡 家族旅行」 9:00 樋口 和子

平成21年に長岡の花火見学に行った時の映像。

終活として映像を整理していて発見した撮りっぱなしのクリップ。 それを編集。

古い映像を取り出して、編集するのも映像作りの楽しみのひとつ。 それらをネタに新たな作品が出来上がるかも。



4) 「友への詫び状」 7:00 長谷川 修

亡くなった映像クラブの友人を偲んで、その思いをまとめた作品。 その友人の作品のプロ並みのナレーションの妙。 そしてその作品から感動したシーンを選び出し、いかに影響を受けたかという思いを作者は

語ります。 タイトル、構成、内容、全てがすばらしいです。



過去の映像ストックから

5) 「新緑のころ」 13:30 木賀 郁弥

カメラ : プロの機材

1999年大和映像まつりの上映作品。

クラブの会員の勉強会として、プロの青木氏の指導のもと、照明器具や録音機材を借用して会員全員が箱根路を訪れ、撮影編集した作品。

箱根路の麓から芦ノ湖までの名所旧跡の道案内はプロのアナウンサー。 このころの大和映像サロンのメンバーの映像に対する情熱と意気込みを感じさせる作品でした。



あとがき

「大和映像まつり」で初めての上映係を担当。
緊張して上映開始でちょっとミスをしました。

編集子2024

11月の開催

- ・11月13日（木） 勉強会 14:00 - 17:00 604号室
- ・11月27日（木） 通常例会 14:00 - 17:00 606号室

大和映像サロン

発行・事務局 土屋 翁三

〒242-0012 大和市深見東1-1-12 TEL 046-263-6623 FAX 046-264-7350